

令和 4 年 9 月 30 日

日本工学院専門学校

## 学校関係者評価結果

本年度においては 9 月に学校関係者評価委員会議を実施した。委員会の中で本校の行った令和 3 年度の自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

- ・スポーツフェスティバルについて、自校の施設で開催した点は良いアイデアであり、良い取り組みである。
- ・学生委員会 ACT は自主的に活動している学生の組織という点でとても素晴らしい。企業はこういった学生を欲しいと考えている。
- ・ゲーム業界は人材不足のため、御校からの人材輩出に期待したい。
- ・コンサート等のイベント業界はまだ集客が戻らないが、戻った際には御校からの人材輩出に期待したい。
- ・オンライン授業などコロナ禍の影響で、留学生の日本語能力低下がみられる。
- ・留学生の入学者減の影響が大きい。ただし日本人を受け入れカバーしている学科もあることが分かる。
- ・キャンパスの環境整備が良く出来ています、整備中の Link！日本工学院、LMS の完成にむけて期待している。
- ・特に学校運営について問題点となることは少なく、大手専門学校らしい王道の学校運営ができていると感じる。
- ・留学生への支援を積極的に行うなど、学生の将来の可能性を広げるために様々な取り組みを行っている。
- ・社会情勢を踏まえ、蒲田校の Wifi 整備、学生ポータルサイトの充実等の環境整備を図り、コロナ禍に対応した授業充実に努めている。

自己評価についてすべてこれらの通りであり納得した、この内容にて了承する。

以上

令和 4 年 9 月 30 日

日本工学院専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校  
校長 千葉 茂

令和 3 年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、以下について検討していきます。

1. アフターコロナに向けて今後必要とされる教職員の業務改善について検討するとともに、学生がより安全に授業を受講できる受講環境整備を整えてまいります。
2. アフターコロナにむけ安全に授業ができる学内のインフラ整備を引き続き整備していきます。（Link 日本工学院、LMS、WSDB、パルサイン）
3. 教育の質を担保できる教員のスキルアップ、教育教材について引き続き検討していきます。
4. インフラ整備だけではなく対面授業・オンライン授業における教育の質の担保も継続的に研究、検討していきます。
5. 留学生の日本語能力向上にむけて取り組んでまいります。
6. 遊休使用中の校友会ラウンジの有効活用方法について検討してまいります。

以上